

第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画(Ｕ・ゆうプランⅢ)第1期推進計画進捗状況について

【達成基準】

- ◎ 計画どおり達成（達成率100％）
- 概ね達成（達成率70％以上）
- △ 一部実施（達成率70％未満）
- × 未実施（実施できなかった事業）
- － 事業完了、事業廃止等

令和6年度事業総括

- ・全体として概ね目標どおりに進捗していると考えられます。
- ・パートナーシップ宣誓制度開始から5年が経過し、宣誓件数が100件を超えました。
- ・共生社会の構築を目指し、各種研修、体験講座、様々な交流事業が開催されています。
- ・UD学習支援事業の受講数は年間100件を超えており、若年層へのUD啓発は順調に進んでいます。
- ・新規採用職員、新任教職員研修に対するUD研修の満足度は非常に高くなっています。また、窓口業務等の担当職員を対象にした実践研修受講者アンケートでも同様に高い評価をいただいています。
- ・八幡駅周辺バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化工事(エレベータ設置等)が完了しました。

◆年度別・基本目標別 達成状況

年度		令和4年度							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	14	73.7%	22	91.7%	10	76.9%	46	82.1%
	○	4	21.1%	1	4.2%	3	23.1%	8	14.3%
	△	1	5.3%	1	4.2%	0	0.0%	2	3.6%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		19	100.0%	24	100.0%	13	100.0%	56	100.0%

年度		令和5年度							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	15	78.9%	21	87.5%	10	76.9%	46	82.1%
	○	3	15.8%	3	12.5%	3	23.1%	9	16.1%
	△	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		19	100.0%	24	100.0%	13	100.0%	56	100.0%

年度		令和6年度							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎	13	68.4%	21	87.5%	10	76.9%	44	78.6%
	○	5	26.3%	3	12.5%	3	23.1%	11	19.6%
	△	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
	×	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		19	100.0%	24	100.0%	13	100.0%	56	100.0%

年度		令和7年度							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎								
	○								
	△								
	×								
		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

年度		令和8年度							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎								
	○								
	△								
	×								
		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

年度		5年間の総括							
基本目標		ひと		こと		くらし		全体	
		取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合	取組数	割合
達成状況	◎								
	○								
	△								
	×								
		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

◆事業別進捗状況

基本目標	1	ひと 主体的に実践できる“人”
基本方針	1	多様性を理解し、認め合うことができる人
基本施策	1	誰もが活躍できる社会

No	事業名	担当課	目 標										
1	企業伴走型障害者雇用推進事業	障害保健福祉課	アドバイザー支援 120回/年										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		アドバイザー支援 104回/年		アドバイザー支援 111回/年		アドバイザー支援 102回/年							
		評価	○	評価	○	評価	○	評価		評価		評価	
障がい者雇用拡大のため、障がい者雇用を実施・検討している企業に継続的な支援や助言を行います。また、研修会等を開催し、障がい者雇用の理解促進や、企業間ネットワークの構築等を支援します。		障がいのある人が地域で働く、働き続けることができる地域づくりを目指し、企業、特別支援学校、医療機関、就労支援機関に対するアドバイザー支援を5年間計600回実施する。											

No	事業名	担当課	目 標												
2	パートナーシップ宣誓制度	UD・男女共同参画課	パートナーシップ宣誓制度の周知や性の多様性理解促進に向けた取組												
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容													
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括			
		性的マイノリティや事実婚の方など、同性・異性を問わず、お互いを人生のパートナーとして認め合った二人が協力して共同生活を行うことを宣誓し、市がその宣誓書を受領したことを証明する「浜松市パートナーシップ宣誓制度」を実施します。		パートナーシップ宣誓制度を周知、実施することで、性の多様性の理解促進を図る。		・R4宣誓件数：25組(R4年度末時点総数：65組) ・県と連携したサービス拡充 ・性の多様性理解を図るパネル展の開催(3月、市役所ロビー)		・R5宣誓件数：24組(R5年度末時点総数：89組) ・県との宣誓手続きに関する制度連携 ・性の多様性理解促進講演会「LGBTQ+のこと、聞こえないこと～ありのままの自分で生きるために～」開催(講師：モンキー高野氏、参加者数：89人、満足度：94%)		・R6宣誓件数：22組(R6年度末時点総数：111組) ・企業を対象とした性の多様性理解促進セミナー開催(1月15日開催、講師：堀川歩氏、受講者合計57名、満足度93%)					
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
3	多様性理解のための教育	教育センター	人権に関する講話受講率 100%											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			受講率 93.8% 参加者135名／対象者144名		受講率 88.9% 参加者128名／対象者144名		受講率 89.6% 研修満足度が80%以上の割合 73.6%							
小中学校における特別の教科・道徳などの時間等を通して、障がいのある人や外国人等、様々な人々の特性や生活習慣に対する理解を深め、お互いの違いを認めることで、児童生徒の思いやりの心を育てます。		教員を対象とした人権に関する研修の実施 研修受講率100%	評価	○	評価	○	評価	○	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
4	福祉体験講座	障害保健福祉課	福祉体験講座受講者数600人		福祉体験講座受講者数620人		福祉体験講座受講者数650人		福祉体験講座受講者数680人		福祉体験講座受講者数700人			
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			福祉体験講座受講者数 5年間計3,250人		福祉体験講座受講者数 957人		福祉体験講座受講者数 1,220人		福祉体験講座受講者数 377人					
車いす・白杖の疑似体験やDVDの上映等を通じて、身体・知的・精神に障がいのある人への理解を深める「障がい福祉体験講座」を実施します。			評価	◎	評価	◎	評価	○	評価		評価		評価	

No		事業名	担当課	目 標										
5		パラスポーツの理解と啓発	スポーツ振興課	パラアスリート等の派遣回数割合20%以上										
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携し、トップアスリート等を学校等に派遣する「トップアスリート連携事業」にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発を図ります。		パラアスリート年間派遣回数の割合を全体派遣回数の20%以上にしていく	・トップアスリート連携事業 合計26回実施 ・うちパラアスリート派遣 3回（約11.5%）		・トップアスリート連携事業 合計27回実施 ・うちパラアスリート派遣 4回（約14.8%）		トップアスリート連携事業合計 20回実施 うちパラアスリートの派遣回数は2回（約10%）							
			評価	△	評価	△	評価	△	評価		評価		評価	

基本目標	1	ひと 主体的に実践できる“人”
基本方針	1	多様性を理解し、認め合うことができる人
基本施策	2	多様な人との交流

No		事業名	担当課	目 標										
6		共生・共育推進事業	教育支援課	居住地校交流の実施率100%										
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
障がいのある子供が地域の中で共に豊かに生活できる社会を実現するため、健常児と障がいのある子供の交流を中心とする「共生・共育」を行うことで、各学校の発達支援教育事業の充実を図ります。 具体的には、特別支援学校在籍児童生徒が、居住地にある小中学校との交流及び共同学習を希望する場合、小中学校が直接交流あるいは間接交流で受け入れていきます。		申請があった特別支援学校在籍児童生徒による居住地校交流の実施 100%	交流希望校…小学校57校(129人)、中学校25校(55人)		交流希望校…小学校65校(159人)、中学校24校(38人)		交流希望校…小学校62校(139人)、中学校27校(49人)							
			実施校…小学校54校(116人)、中学校24校(51人)95% ※実施できなかった理由;体調不良、新型コロナ感染症等		実施校…小学校63校(149人)、中学校23校(37人)95% ※実施できなかった理由;体調不良、家庭の都合、転出		実施校…小学校60校(137人)、中学校23校(42人)95% ※実施できなかった理由;長期欠席、体調不良、家庭の都合							
			評価	○	評価	○	評価	○	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
7	世代間交流事業	幼保運営課	事業実施園数20園(市内全市立保育園)／年											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
幼稚園や保育園において、思いやりの心と優しい気持ちを育み、いろいろな世代の方と分け隔てなく接することができるように、季節の伝統行事や伝承遊び等を地域の高齢者と体験し、また、未就園児親子や小中学校・高校の児童生徒との触れ合いの場の提供等を行います。		毎年度、全ての市立保育園で事業を実施する。	市立保育園(19園)において、世代間交流事業を実施		市立保育園(20園)において、世代間交流事業を実施		市立保育園(20園)において、世代間交流事業を実施							
			評価	○	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
8	外国人学習支援センター事業	国際課	事業参加者の満足度85%											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
外国人市民の総合的な学習のため、地域のボランティアと連携し、日本語学習支援講座、支援者育成のための学習支援ボランティア養成講座や多文化体験・交流事業等を実施します。		外国人学習支援センター事業参加者の満足度水準85%(事業参加者アンケート)	事業参加者の満足度95.8%		事業参加者の満足度97.2%		事業参加者の満足度96.4%							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	1	ひと 主体的に実践できる“人”
基本方針	2	主体的に行動し、実践できる人
基本施策	1	UDの深化・定着

No		事業名	担当課	目 標											
9	UD学習支援事業		UD・男女共同参画課	UD学習支援事業受講件数 100件/年											
事業内容			5年間の目標	実 施 内 容											
				R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
市内小中学生等を対象として、ユニバーサルデザイン学習資料の提供をはじめ、出前講座等の学習支援を市民協働で実施し、思いやりの心を育て、心のユニバーサルデザインを広めます。			UD学習支援事業受講件数 5年間計500件	UD学習支援事業受講件数 113件		UD学習支援事業受講件数 102件		UD学習支援事業受講件数 107件							
				評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

事業名		担当課	目 標											
10	UD教材開発事業	UD・男女共同参画課	デジタル教材の調査研究、開発、提供											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
学校教育においてICT環境が整備される中、デジタル教材を開発し、子どもたちに学ぶ機会を提供します。		ニーズに応じたデジタル教材の提供	タブレット端末でバーチャル空間上のUD施設を体験できる教材を開発、小中学校で試験運用(16校)		・タブレット端末でバーチャル空間上のUD施設を体験できる教材の運用(利用者数:4校322人) ・UDの基本を学ぶ動画の作成		・タブレット端末でバーチャル空間上のUD施設を体験できる教材の運用(利用者数:12校753人)							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
11	教職員UD研修	UD・男女共同参画課 教育センター	新任教職員に対するUD研修の実施											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
市立小中学校の新任教員等を対象として、ユニバーサルデザインに関する研修を実施し、教員の知識と関心を深め、ユニバーサルデザイン学習の取組促進を図ります。		毎年度、新任教職員に対するUD研修の継続実施	受講者数:136人 研修満足度が80%以上の割合89%		受講者数:158人 研修満足度が80%以上の割合92%		受講者数:127人							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標													
12	職員へのUD推進	UD・男女共同参画課	職員に対するUD研修の実施													
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容													
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括			
			各部署の業務に必要なユニバーサルデザインの考え方や配慮についての理解を広める職員向け研修を実施し、事業や施策等にUD視点を取り入れるように意識付けの浸透を図る。		毎年度、職員に対するUD研修の継続実施		新規採用職員研修受講者アンケート 理解度:4.46点(5点満点) 満足度:4.42点(5点満点)		新規採用職員研修受講者アンケート 理解度:4.57点(5点満点) 満足度:4.51点(5点満点)		新規採用職員研修受講者アンケート 理解度:4.59点(5点満点) 満足度:4.60点(5点満点)					
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
13	はままつUD週間	UD・男女共同参画課	UD週間の開催											
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容												
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括		
		毎年11月1日を含む週を「はままつユニバーサルデザイン週間」とし、市役所や図書館などでのパネル展示等を通して、一人ひとりが思いやりの心を育て、心のユニバーサルデザインを啓発します。		毎年度、UD週間期間に合わせ、UD週間の周知をはじめ、UDの啓発に取り組む。		UD週間(10/31-11/6)の開催 会場：市役所ロビー、城北図書館 内容：パネル展示、ピクトグラム選手権入賞作品展示、啓発冊子の配布、ピクトグラムクリアファイルの配布 UD週間を初めて知った人の割合：60%		・UD週間(10/30-11/5)の開催 会場：市役所ロビー、城北図書館 内容：パネル展示、ピクトグラム選手権入賞作品展示、啓発冊子の配布、ピクトグラムクリアファイルの配布 UD週間を初めて知った人の割合：54%		・UD週間(10/28-11/3)の開催 会場：市役所ロビー、城北図書館 内容：パネル展示、ピクトグラム選手権入賞作品展示、啓発冊子の配布、ピクトグラムクリアファイルの配布 UD週間を初めて知った人の割合：43%				
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		

事業名		担当課	目 標													
14	市民へのUD啓発	UD・男女共同参画課	受講者数 20人/年													
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容													
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括			
			市民のユニバーサルデザインの認知・理解を広めるためのセミナーを行うことで、ユニバーサルデザインを学び、関心を持つ契機となる場を提供します。		市民に対するUD理解を広めるユニバーサルマナーセミナー 受講者数 5年間計100人		受講者数:25人(このうち14人がUD実践セミナーを受講) 受講者の満足度:100%		受講者数:29人(このうち12人がUD実践セミナーを受講) 受講者の満足度:100%		受講者数:29人(このうち20人がUD実践セミナーを受講) 受講者の満足度:100%					
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
15	事業者へのUD啓発	UD・男女共同参画課	UDの取組状況の調査・収集		事業者への周知と意識づけ		UDのメリット周知と事業への協力事業者の発掘		協力事業者の拡充と受講生の拡充					
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
ユニバーサルデザインのメリットを理解してもらうための周知など、事業者に対するユニバーサルデザインの意識付けを行うことで、ユニバーサルデザインの取組の促進を図ります。		事業者に対するUD理解向上とUDへの取組の促進	周知のためのUD事例集の作成		・UD事例集の配付(浜松商工会議所ほか経済団体) ・サンストリート浜北でのUD展開催		・UD事例集の配付(庁内) ・市役所、区役所、行政センター、図書館、商業施設でUD展を開催							
			評価	◎	評価	◎	評価	○	評価		評価		評価	

基本目標	1	ひと 主体的に実践できる“人”
基本方針	2	主体的に行動し、実践できる人
基本施策	2	UDの行動・実践

No	事業名	担当課	目 標											
16	みんなで広める！UD提案事業	UD・男女共同参画課	UD提案事業の実施											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
市民団体からユニバーサルデザインに関する事業提案を募集して、採択した事業について市が委託し、市民協働による事業を実施します。		UD提案事業の実施	・性の多様性パンフレットづくり及び当事者を中心とした居場所づくり →学校や地域での講座や当事者・保護者からの相談にパンフレットを活用。当事者の保護者、若者など異なる対象ごとの交流会を実施 ・家康公ゆかりの地マップ作成 →現地に行かなくても動画で史跡を紹介		工作や遊びを通じた発達障がいがある子・ない子、不登校の子の新たな居場所づくりイベント(4回)及び発達障がいや不登校児の多面的な理解、包括的な支援のための講演会の開催。 参加者総数115人		・料理で世界とつながろう 料理する体験を通して、人種や言葉の壁を越えて交流し、多様性理解を促進 参加29人 ・弁天島ユニバーサルツーリズムワークショップ 弁天島周辺の平時利用と発災時の対応をユニバーサルデザインの視点から考える 参加23人							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
17	大学等との協働事業	UD・男女共同参画課	大学等との協働によるUD啓発事業の実施										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		大学等の教育機関と連携して、ユニバーサルデザインの啓発事業を実施します。		大学等との協働事業の実施		・静岡文化芸術大学との協働によるUD絵本ワークショップを開催(学生ボランティア8人、大学講師2人、満足度100%) ・ピクトグラム選手権審査への協力(小浜教授、小川助教授) ・浜松未来総合専門学校生4人とバーチャル空間UD施設体験教材を開発		・静岡文化芸術大学との協働UD絵本ワークショップ(参加者14人、講師2人、学生ボランティア8人、満足度100%) ・ピクトグラム選手権審査への協力(小浜教授、小川助教授) ・バーチャル空間UD施設体験教材の活用(利用者数:322人)		・静岡文化芸術大学との協働UD絵本ワークショップ(参加者21人、講師2人、学生ボランティア10人、満足度100%) ・ピクトグラム選手権審査への協力(小浜教授、小川助教授) ・バーチャル空間UD施設体験教材の活用(利用者数:753人)			
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
18	UD学習支援ガイドの養成と協働	UD・男女共同参画課	UD学習支援ガイド登録者数 年度末 22人		UD学習支援ガイド登録者数 年度末 24人		UD学習支援ガイド登録者数 年度末 26人		UD学習支援ガイド登録者数 年度末 28人		UD学習支援ガイド登録者数 年度末 30人			
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
小中学生等を対象としたユニバーサルデザイン学習を市民と協働で進めるため、UD学習支援を担うことができる市民リーダー（UD学習支援ガイド）の養成を図ります。		UD学習支援ガイド登録者数 令和8年度末 30人	UD学習支援ガイド登録者数 年度末22人		UD学習支援ガイド登録者数 年度末22人 (2人増、2人辞退)		UD学習支援ガイド登録者数 年度末29人							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
19	ユニバーサル農業の推進	農業水産課	普及・啓発に努めるとともに、研究会での情報共有や新たな事業の調査・研究の可能性を探る。	ユニバーサル農業モデル事業調査・研究の推進		全国規模のシンポジウムの開催		調査研究、モデル事業等の事業化の検討		調査研究、モデル事業等の事業化				
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
農業分野において、誰もが作業できるよう作業分解の視点等を取り入れることで、障がい者のみならず、高齢者や女性など多様な担い手を確保し、多様な就農機会の創出を図ります。		令和6年度にユニバーサル農業の取り組み開始から20年を迎えることから、これまでの取組の集大成となるような全国規模のシンポジウムを開催し、モデル事業等に取り組み、事業化を目指す。	・全国からの視察の対応(6件) ・ユニバーサル農業研究会を開催(2回) ・ユニバーサル農業シンポジウムを開催(参加者112名)		・全国からの視察の対応(1件) ・韓国における取組み事例の視察 ・ユニバーサル農業研究会を開催(2回) ・ユニバーサル農業シンポジウムを開催(参加者73名)		・全国からの視察の対応(6件) ・帝人ソレイユ(特例子会社)の視察 ・ユニバーサル農業研究会を開催(2回) ・ユニバーサル農業20周年記念シンポジウムを開催(参加者146名)							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	2	こと 誰一人取り残さない“仕組み”
基本方針	1	自らの考えで選択し、社会参画できる仕組み
基本施策	1	誰にでも伝わる情報発信

No	事業名	担当課	目 標											
20	多言語生活情報サイト「カナルハママツ」	国際課	掲載情報の随時更新による多言語生活情報の提供											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
生活者としての外国人市民が求める情報を提供するため、市ホームページの多言語生活情報サイト「カナルハママツ」で、英語、ポルトガル語、やさしい日本語、フィリピン語、中国語、スペイン語、ベトナム語による情報を提供します。		外国人市民が必要とする生活情報を提供し、外国人市民にとって有益な多言語生活情報サイトの管理運営に取り組む	アクセス件数525,571件		アクセス件数511,619件		アクセス件数524,323件							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
21	市政情報のUD化	広聴広報課	誰もが分かりやすい情報発信及び各種広報媒体の積極的な活用に取り組む											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
必要とする人に分かりやすく市政情報が伝わるような情報発信を行うほか、SNSなど各種広報媒体を活用した多角的な情報発信を行います。		誰もが分かりやすい情報発信及び各種広報媒体の積極的な活用に取り組む	・ホームページや広報はままつでのUDフォントの使用や定例会見での手話通訳の配置等を行った。 ・SNSなど各種広報媒体を活用して情報発信を行った。		・ホームページや広報はままつでのUDフォントの使用や定例会見での手話通訳の配置等を行った。 ・SNSなど各種広報媒体を活用して情報発信を行った。		・ホームページや広報はままつでのUDフォントの使用や定例会見での手話通訳の配置等を行った。 ・SNSなど各種広報媒体を活用して情報発信を行った。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎						

No	事業名	担当課	目 標											
22	防災情報のUD化	危機管理課	UDに配慮した防災・災害情報の随時見直し											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
防災・災害情報を必要とする人にタイムリーに分かりやすく伝えるため、ホットメール(eメール)、LINE、防災マップ(GIS)などの複数の周知手段を用い、UDに配慮した防災・災害情報発信を行います。		ホットメール(eメール)、LINE、防災マップ(GIS)などの複数の防災・災害情報の周知手段を、UDに配慮したものとなるように随時見直しを行っていく。	音声読み上げ機能を利用した場合、誤解される恐れがある地名については、「ひらがな表記」にして、ホットメール、LINE等で防災・災害情報を発信した。		防災ホットメールをタイムリーに多言語配信できるように国際課がシステムを導入した。		防災マップ(GIS)において、直感的に選択できるよう災害事象をアイコン化し、洪水や土砂災害等各レイヤーの整理・色調変更など、表示方法の変更を行った。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
23	地域のUD情報等発信	観光・シティプロモーション課	多言語観光パンフレット配架	多言語観光パンフレットリニューアル	様々な媒体を活用した情報発信									
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
誰もが訪れやすく、暮らしやすい街づくりを進めるために、地域の宿泊施設、文化・観光施設、公共交通、トイレ等のユニバーサルデザイン情報を収集し、観光情報サイトを活用して誰にでもわかりやすく提供します。		地域の宿泊施設、文化・観光施設等のUD情報発信	浜松市観光インフォメーションセンターにて配架	リニューアル版を浜松市観光インフォメーションセンターにて配架	インフォメーションセンターでの紙媒体での配布のほか、HPやSNS等で情報発信を行った。									
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
24	ICTを活用したUD情報発信事業	UD・男女共同参画課	UD情報の発信											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
市ホームページやフェイスブックなどのSNSを活用したユニバーサルデザインに関する様々な情報を発信し、市民等に対するユニバーサルデザインの意識啓発を行います。		UDに関する市の取組や身近なUD情報の発信	・市ホームページ、フェイスブックを利用したUD情報、セミナー・イベント情報の発信など	・市ホームページ、フェイスブックを利用したUD情報、セミナー・イベント情報の発信など	・市ホームページ、フェイスブックを利用したUD情報、セミナー・イベント情報の発信など		・UDの基礎を学ぶことができる動画の作成及び発信							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
25	子育て情報発信事業	こども若者政策課	・訪問者数 4,000,000人 ・友だち登録者数 5,000人	・訪問者数 4,125,000人 ・友だち登録者数 6,250人	・訪問者数 4,250,000人 ・友だち登録者数 7,500人	・訪問者数 4,375,000人 ・友だち登録者数 8,750人	・訪問者数 4,500,000人 ・友だち登録者数 10,000人							
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
オープンデータに対応した「浜松市子育て情報ポータルサイト」や、チャットボットを主体とするICT関連サービスの管理・運営を行うことにより、子育て世帯に常に最新の情報提供を行うほか、子育て支援者や関係団体とつながることができる環境整備を行います。		・子育て情報サイト訪問者数 4,500,000人(KPI) ・子育て情報サイト公式LINEアカウントの友だち登録者数 10,000人(KPI)	R4年度訪問者数 4,553,620人 R4年度友だち登録者数 5,343人	R5年度訪問者数 5,055,705人 R5年度友達登録者数 7,965人	R6年度訪問者数 4,488,540人 R6年度友だち登録者数 10,414人									
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	2	こと 誰一人取り残さない“仕組み”
基本方針	1	自らの考えで選択し、社会参画できる仕組み
基本施策	2	誰もが社会参画できる環境整備

No	事業名	担当課	目 標										
26	シルバー人材センター支援	高齢者福祉課	シルバー人材センター会員数 4,320人	シルバー人材センター会員数 4,390人	シルバー人材センター会員数 4,460人	シルバー人材センター会員数 4,530人	シルバー人材センター会員数 4,600人						
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容										
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括
シルバー人材センターへの支援等を通じ、 高齢者の「働くこと」を通じた社会参加を促進し、 高齢者の健康で生きがいのある生活の実現を図ります。		シルバー人材センター会員数 令和8年度末 4,600人	シルバー人材センター会員数 4,403人	シルバー人材センター会員数 4,503人	シルバー人材センター会員数 4,485人								
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価

No	事業名	担当課	目 標											
27	障害者就労支援事業	労働政策課	セミナー参加者数40人/年											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			障がいのある方の就労に関する総合的な相談に応じるとともに、就職後における定着支援を行います。また、障害者雇用を促進するため、企業等に対し、就労に関するセミナーを開催します。		セミナー参加者数 5年間計 200人		参加者:51人 テーマ「働く場面における発達障がいの表れを理解する」オンライン（Zoom）開催		参加者:56人 障害者雇用促進セミナー		参加者:72名 障がい者雇用促進セミナー			
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標													
28	高齢者就労支援事業	労働政策課	シニア専用デスク利用者就職率36%、活躍宣言事業所数110社	シニア専用デスク利用者就職率37%、活躍宣言事業所数120社	シニア専用デスク利用者就職率38%、活躍宣言事業所数130社	シニア専用デスク利用者就職率39%、活躍宣言事業所数140社	シニア専用デスク利用者就職率40%、活躍宣言事業所数150社									
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容													
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括			
			働くことを希望する誰もが70歳になっても働くことができる都市の実現に向け、70歳以上の高齢者の就労が可能な事業所を「高齢者活躍宣言事業所」に認定し、公表します。また、ジョブサポートセンターシニア専用デスクにて、求職中の高齢者(概ね55歳以上)を対象に、就労支援を行います。		高齢者活躍宣言事業所150社 シニア専用デスク利用者就職率40%		個別相談会12回、求職者向けセミナー3回、就職フェア2回実施。就職率49%。114社。		個別相談会12回、求職者向けセミナー1回、就職フェア1回実施。就職率56%。126社。		個別相談会12回、求職者向けセミナー1回、就職フェア2回実施。就職率54%。136社。					
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標														
29	女性就労支援事業	労働政策課	セミナー参加女性の就職率 46%		セミナー参加女性の就職率 48%		セミナー参加女性の就職率 50%		セミナー参加女性の就職率 50%		セミナー参加女性の就職率 50%						
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容														
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括				
			就労を希望する女性を対象に、就職活動に役立つスキルを身につけられるセミナーや女性のデジタル人材育成を目的としたセミナーを開催する。また、求職中の女性と女性の採用に積極的な市内企業とのマッチングを図るための就職フェアを実施する。		セミナー参加女性の就職率 50%		セミナー7回、就職フェア1回開催。セミナー参加女性の就職率50.0%		セミナー5回、デジタル講座、就職フェア1回開催。セミナー、講座参加女性の就職率50.0%		セミナー4回、デジタル講座、就職フェア1回開催。参加女性の就職率62.8%						
			評価	◎		評価	◎		評価	◎		評価			評価		

No	事業名	担当課	目 標										
30	一人一人の状況に応じた多様で柔軟な教育の充実	教育支援課	初期適応指導動画の利用法を周知 タブレットの利用法を周知	初期適応指導動画の活用率100% タブレットを活用したオンライン指導検証									
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		学校などにおいてICTを効果的に活用し、障がいのある子供、外国人児童生徒、不登校児童生徒など一人一人の状況に応じた教育支援の充実を図ります。		初期適応指導動画を活用し、編入した外国人児童生徒の校内適応を促す。 取り出し指導におけるタブレットを活用した学習の充実を図る。		年間5回研修会で初期適応指導動画の利用方法を研修		初期適応指導動画を活用した初期適応指導の実施率92.8% タブレットを活用したオンライン指導 実施1回（江南教室―北浜中・日本語と教科の統合学習：英語）		初期適応指導動画を活用した初期適応指導の実施率 タブレットを活用したオンライン指導の実施率94% 実施2回（浜北教室―庄内学園中学校）			
評価	◎	評価	○	評価	○	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
31	ワーク・ライフ・バランス等推進事業所 認証事業	労働政策課	認証事業所数 130事業所	認証事業所数 140事業所	認証事業所数 150事業所	認証事業所数 160事業所	認証事業所数 170事業所						
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		誰もが働きやすい職場環境づくりや働き方改革の推進を図るため、仕事と家庭・地域活動等との両立支援などワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所を認証します。		ワーク・ライフ・バランス等推進事業所 令和8年度時点の認証事業所数 170事業所		認証事業所数 129事業所		認証事業所数 139事業所		認証事業所数 143事業所			
評価	○	評価	○	評価	○	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
32	多文化共生センター事業	国際課	事業参加者の満足度85%										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		誰もが安心して暮らせる共生社会づくりを進めるため、専門スタッフを配置し、多言語による生活相談や情報提供を行うとともに、外国人市民と日本人市民の共生を図るための事業などを実施します。		多文化共生センター事業参加者の満足度水準85%（事業参加者アンケート）		事業参加者の満足度88.2%		事業参加者の満足度92.5%		事業参加者の満足度95.3%			
評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
33	誰もが音楽に親しむ機会の提供	創造都市・文化振興課	オンライン配信の実施										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		現地への来場が困難な方にも音楽を楽しんでいただくため、オンライン配信の取組を実現することで、より多くの方に音楽に親しむ機会を提供します。		対象事業のオンライン配信を継続する。 ・プロムナードコンサート ・全日本高等学校選抜吹奏楽大会		プロムナードコンサート（18回）、全日本高等学校選抜吹奏楽大会（1回）のオンライン配信		プロムナードコンサート（19回）、全日本高等学校選抜吹奏楽大会（1回）のオンライン配信					
評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
34	ユニバーサルツーリズム受入環境整備	観光・シティプロモーション課	継続的な受入環境整備											
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容												
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括		
		地域のユニバーサルデザイン情報の収集発信を一元化する体制づくりや事業者等とのネットワーク強化を図り、ユニバーサルツーリズムに対応した受入環境整備を促進します。		ユニバーサルツーリズム受入環境整備		大河ドラマ館のオープン期間に合わせ、浜松市観光インフォメーションセンターの案内体制を拡充		大河ドラマ館のオープン期間に合わせ、浜松市観光インフォメーションセンターの案内体制を拡充		浜名湖花博の開催期間に合わせ、浜松市観光インフォメーションセンターの案内体制を拡充				
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		

基本目標	2	こと 誰一人取り残さない“仕組み”
基本方針	2	いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み
基本施策	1	新しいつながりの創出

No	事業名	担当課	目 標											
35	デジタルデバйдの解消	創造都市・文化振興課	スマホ等デジタル関連講座の開催 80回／年											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			市民のデジタルデバйд(情報格差)を解消し、デジタル技術の活用による恩恵を誰もが受けることができるよう、パソコンやスマホ等の使い方に関する講座を開催します。		浜松市が実施するスマホ等デジタル関連講座の回数 80回／年 累計400回		スマホ等デジタル関連講座の回数 154回／年		スマホ等デジタル関連講座の回数 138回／年		スマホ等デジタル関連講座の回数 160回／年			
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
36	電子図書の貸出・閲覧サービスの提供	中央図書館	年度末時点コンテンツ数: 5,090点		年度末時点コンテンツ数: 6,490点		年度末時点コンテンツ数: 9,240点		年度末時点コンテンツ数: 10,540点		年度末時点コンテンツ数: 11,840点		
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容										
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括
電子化された書籍、多言語資料、行政資料などを登録し、図書館で利用登録した人を対象に、インターネット環境があれば、個人のパソコン、スマートフォン、タブレットなどの端末で24時間いつでもどこでも貸出・閲覧できるサービスを提供します。		多言語資料、読み上げ可能コンテンツを含めたコンテンツ数の充実化を図る。 R8年度末時点での目標コンテンツ数:11,840点	年度末時点コンテンツ数: 5,202点		年度末時点コンテンツ数: 7,942点		年度末時点コンテンツ数: 9,610点						
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価

No	事業名	担当課	目 標											
37	自治会活動の発信と参画促進	市民協働・地域政策課	デジタル化に向けた研修の開催											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			自治会等コミュニティにおけるデジタル推進に向けた支援を行うことで、自治会活動等を発信し、多様な会員の参画を促進します。		自治会のICT化に向けた支援		浜松市自治会連合会理事を対象とした全体研修を1回、希望する自治会を対象とした体験研修を4回開催した。		浜松市自治会連合会理事を対象とした全体研修を1回、希望する自治会を対象とした体験研修を5回開催した。		浜松市自治会連合会理事を対象とした全体研修を1回、希望する自治会を対象とした体験研修を3回開催した。			
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
38	市内間交流事業	中山間地域振興課	デジタルを活用した事業の実施やオンライン配信										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		リモート体験ワークショップやオンライン会議、中山間地域の魅力を発信する動画を制作しSNS等によるPRを行うことで、中山間地域に関心を持つ市民と中山間地域住民の市内間交流事業を実施します。		デジタルを活用した事業の実施やオンライン配信		・中山間地域の情報発信 ・中山間地域住民と中山間地域に関心を持つ市民とのオンライン会議による交流		・中山間地域の情報発信 ・中山間地域住民と中山間地域に関心を持つ市民との交流会議の配信 ・電子データのマップを用いたクイズラリー形式のイベントの実施		・中山間地域住民と中山間地域に関心を持つ市民との交流を目的としたシンポジウムを開催後、いつでも誰でも視聴できるよう、当日の映像をアーカイブ配信。			
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
39	やさしい日本語の活用推進	国際課	習熟度に応じたやさしい日本語講座を年間1回以上実施											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			職員を対象とした「やさしい日本語講座」の開催など、やさしい日本語の活用を啓発・促進するとともに、やさしい日本語で情報発信します。		やさしい日本語講座を毎年実施し、やさしい日本語の活用を啓発・促進		やさしい日本語講座の開催3回		やさしい日本語講座の開催3回		やさしい日本語講座の開催3回			
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	2	こと	誰一人取り残さない“仕組み”
基本方針	2	いつでも、どこでも、誰でもつながる仕組み	
基本施策	2	誰でも安全・安心に暮らせるまちづくり	

No	事業名	担当課	目 標									
40	行政手続きのオンライン化の推進	デジタル・スマートシティ推進課	オンライン化率 84%		オンライン化率 85%		オンライン化率 86%					
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容									
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
市役所に来庁しなくても手続きが完了するなど、市民の利便性向上並びに行政運営の効率化を図るため、行政手続きのオンライン化を推進します。		年間の申請件数を基にしたオンライン化率(件数ベース) 86%	オンライン化率 56%		オンライン化率 80%		オンライン化率 78%					
			評価	△	評価	○	評価	○	評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
41	ICTを活用したコミュニケーション支援	国際課、障害保健福祉課、U D・男女共同参画課	窓口等における円滑なコミュニケーション支援を行う環境整備とサービスの定着を図る。										
事業内容	5年間の目標	実 施 内 容											
		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
		タブレット端末を使用した多言語通訳サービス、テレビ電話機能による手話通訳、音声文字化アプリケーションによるコミュニケーション支援ができる環境づくりを図ります。		コミュニケーション支援のための充実した利用環境整備を促進する。		タブレット端末を使用した多言語相談(1,205件)、テレビ電話機能による手話通訳(4件)、音声文字化アプリケーション(54件)によるコミュニケーション支援を用意し、利用者が必要とするコミュニケーション支援を選択できる環境づくりを図った。		タブレット端末を使用した多言語相談(1,420件)、テレビ電話機能による手話通訳(6件)、音声文字化アプリケーション(33件)によるコミュニケーション支援を用意し、利用者が必要とするコミュニケーション支援を選択できる環境づくりを図った。		タブレット端末を使用した多言語相談(1,581件)、音声文字化アプリケーション(34件)によるコミュニケーション支援を用意し、利用者が必要とするコミュニケーション支援を選択できる環境づくりを図った。			
		評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
42	消防情報通信ネットワーク事業	情報指令課	技量の確認のための指令管制検定、技量の維持・向上のための模擬訓練の実施											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
消防指令センターにおいて外国人、119番通報に不安がある人(言語機能や呼吸器、聴覚に障がいのある人)及び高齢者からの緊急通報に対して、速やかに通報者に関する情報収集を行い、消防指令管制システムへ取り込み、活動隊への支援情報として活用します。		情報収集を行い、消防指令管制システムへ取り込み、活動隊への支援情報として活用する技量の維持と向上を図る。	指令管制検定等の実施により、情報伝達に係る技量の維持、向上を図った。		指令管制検定等の実施により、情報伝達に係る技量の維持、向上を図った。		各種研修・模擬訓練を実施し、指令管制員の技量の確認及び災害・通報対応能力の向上を図った。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
43	緊急通報の円滑な対応	情報指令課	技量の確認のための指令管制検定、技量の維持・向上のための模擬訓練の実施											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
日本語の分からない外国人、音声による119番通報に不安がある人（言語機能や呼吸器、聴覚に障がいのある人）及び高齢者が行う緊急通報に対して、三者間通訳サービスや音声によらない緊急通報システム、やさしい日本語を活用し円滑な対応を行います。		日本語の分からない外国人、音声による119番通報に不安がある人及び高齢者が行う緊急通報に対応する技量の維持と向上を図る。	指令管制検定等の実施により、情報伝達に係る技量の維持、向上を図った。		指令管制検定等の実施により、情報伝達に係る技量の維持、向上を図った。		各種研修・模擬訓練を実施し、指令管制員の技量の確認及び災害・通報対応能力の向上を図った。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	3	くらし 未来まで続く安全・安心な“まち”
基本方針	1	安全・安心かつ自由に移動できるまち
基本施策	1	誰もが利用できる交通環境

No	事業名	担当課	目 標											
44	民間交通事業者UD化支援	交通政策課	民間交通事業者UD化支援											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
鉄道駅のバリアフリー化整備など民間交通事業者が実施する公共交通のユニバーサルデザイン化設備整備事業等に要する経費の一部を支援することにより、快適で安全で利用しやすい公共交通の形成を促進します。		民間交通事業者UD化支援	遠州鉄道八幡駅バリアフリー化設備整備費補助金の交付（EV設置、バリアフリースイレ設置、プラットホーム嵩上、ホーム柵・点字タイル設置等）		遠州鉄道岩水寺駅バリアフリー化設備整備費補助金の交付（ホーム柵・点字タイル設置）		遠州鉄道第一通りバリアフリー化設備整備費補助金の交付（詳細設計・準備工事）							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
45	浜松自動運転やらまいかプロジェクト	産業振興課	自動運転実用化に向けた検証											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
地域公共交通の課題を解決し、地域及び産業の振興と次世代モビリティサービスの創出に資することが可能な自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化を図ることを目的に、実証実験などを通じた検証を行います。		浜松市の交通課題を解決し、持続可能な公共交通のあり方を探るため、実証実験を通じて技術面・社会受容性面・経営面等において将来の自動運転導入の可能性を検討する。	令和4年5月17日～20日にかけて第3回自動運転実証実験を実施し、合計52名のモニターが乗車した。		令和5年11月28日～令和6年2月17日にかけて第4回自動運転実証実験を実施し、合計359名（関係者を含む。）が乗車した。		令和6年11月5日～令和7年1月23日にかけて第5回自動運転実証実験を実施し、合計205名（関係者を含む。）が乗車した。							
			評価	○	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
46	地域バス・自主運行バスの運行	交通政策課	市民の生活を支えるために必要な公共交通サービスの提供											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
			交通空白地域等において、地域住民の日常生活の移動手段を確保するために地域バスや自主運行バスの運行を行います。		市民の生活を支えるために必要な公共交通サービスの提供		・13地域で地域バスを運行 ・自主運行バス北遠本線を運行		・13地域で地域バスを運行 ・自主運行バス北遠本線を運行		・13地域で地域バスを運行 ・自主運行バス北遠本線を運行			
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
47	共助型地域交通等推進モデル事業	デジタル・スマートシティ推進課	共助型交通導入希望地域への支援											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
浜松版MaaS構想の重点分野の一つとして、公共交通の維持が困難となっている地域の中からモデル地区を選定し、自家用車を使った共助型交通の導入やスクールバスの有効活用、予約システムなどを検討し持続可能な地域交通の確立を目指します。また、確立した手法については同様の課題を抱える市内他地域へ横展開を図ります。		共助型交通の導入を希望する地域への支援実施	モデル地区である春野、庄内において地域の団体と事業実施に向け調整を行った。		庄内地域において、地域の団体による共助型交通の運行が開始された。		事業主体と共同で事業改善のための運営会議を毎月開催し、伴走型で支援を行った。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

基本目標	3	くらし 未来まで続く安全・安心な“まち”
基本方針	1	安全・安心かつ自由に移動できるまち
基本施策	2	誰もが暮らしやすい面的な生活空間の整備

No	事業名	担当課	目 標													
48	わかりやすい案内サインの設置	道路企画課	・高速道路ナンバリング対応 ・案内標識の適正化				・案内標識の適正化									
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容													
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括			
			評価		○		評価		○		評価		○		評価	
標識令、道路標識設置基準、しずおか公共サイン整備ガイドライン等に基づき、道路案内標識の種類、表示地名等を適正に管理・整備し、市民や浜松市を訪れる人に対して、分かりやすい案内や誘導を進めます。		標識令、道路標識設置基準、しずおか公共サイン整備ガイドライン等に基づき、道路案内標識の種類、表示地名等を適正に管理・整備する	・東名高速浜松IC周辺の案内標識ナンバリングを実施 ・浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画(案)に基づいた案内標識を設置		・区再編に伴い東名高速浜松IC周辺の案内標識ナンバリングを実施 ・浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画を改訂		・浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画に基づいた案内標識に更新									

No	事業名	担当課	目 標											
49	ピクトグラムの周知啓発	UD・男女共同参画課	ピクトグラムの周知や啓発											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
ピクトグラム情報の収集・周知などを通して、ピクトグラムの周知や啓発を図ります。		ピクトグラムの周知や啓発	ピクトグラム選手権の開催 ・応募者数(小学生1,160点、中学生380点、一般243点) ・一般の部(テーマ:ブラインドサッカー)入賞作品をブラインドサッカー日本選手権の会場に掲示及び応援グッズ(手旗)に取込み配布		ピクトグラム選手権の開催 ・応募者数(小学生1,112点、中学生261点、一般33点) ・前年度入賞作品を各区UD展、UD週間展、サンストリート浜北での啓発事業等において展示		ピクトグラム選手権の開催 ・応募者数(小学生690点、中学生87点、一般93点) ・前年度入賞作品を各区UD展、UD週間展、城北図書館、サンストリート浜北での啓発事業等において展示							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
50	八幡駅周辺バリアフリー化	交通政策課、道路企画課	曳馬中田島線(南側)外1線歩道設計完了		八幡駅改修等工事完了 曳馬中田島線(北側)歩道設計完了 曳馬中田島線(南側)外1線歩道工事完了		曳馬中田島線(北側)歩道工事完了							
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
遠州鉄道八幡駅周辺は、居住誘導地域であるとともに、医療・介護施設や企業が立地しており、高齢者や障がい者等の安心・安全な利用・通行のため、バリアフリー法に基づく「八幡駅周辺バリアフリー基本構想」を策定しました。 本構想に基づき、八幡駅横断歩道橋エレベーター整備を行うなど、安全に安心して通行できる道路交通環境を改善することで、バリアフリー化の整備を進めます。		八幡駅周辺バリアフリー化	曳馬中田島線(南側)外1線歩道設計完了		・八幡駅改修等工事实施(エレベーター及び新設歩道橋部) ・曳馬中田島線(北側)歩道設計完了 ・曳馬中田島線(南側)外1線歩道工事完了		・八幡駅改修等工事完了(エレベーター及び新設歩道橋部))							
			評価	◎	評価	○	評価	○	評価		評価		評価	

基本目標	3	くらし 未来まで続く安全・安心な“まち”
基本方針	2	いつまでも続く快適なくらし
基本施策	1	誰もが利用できる施設整備

No	事業名	担当課	目 標										
51	公共建築物等のUD化推進	公共建築課	UD度：61.00点		UD度：61.50点		UD度：62.00点		UD度：62.50点		UD度：63.00点		
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容										
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括
すべての人が快適に利用できる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の新設等の施設整備において、適正な整備水準を確保します。		公共建築物長寿命化推進事業で実施する大規模改修工事と併せて、ユニバーサルデザイン化整備を実施し、公共建築物ユニバーサルデザイン度の向上を図る。	中央図書館等についてUD化整備工事を実施し、目標の61.00点に対して61.03点と目標を達成できた。		総合産業展示館等についてUD化整備工事を実施し、目標の61.50点に対して61.69点と目標を達成できた。		渚園等についてUD化整備工事を実施し、目標の62.00点に対して61.87点と概ね目標を達成できた。						
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価

事業名		担当課	目 標											
52	公園のUD化推進	公園課	ユニバーサルデザインに配慮した公園施設の整備											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
子供からお年寄りまで、誰もが安全で安心して利用できるよう、公園施設のユニバーサルデザイン化整備を進めます。		公園施設については、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。	西中瀬中央公園新規整備、伊左地緑地バリアフリー化整備、貴布祢ふれあい公園トイレ新設		万斛庄屋公園、川久保公園、上臈塚公園、名塚公園、遠州灘海浜公園(中田島地区)		和地山公園外10公園バリアフリー化整備							
			◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価		

No	事業名	担当課	目 標											
53	スポーツ施設のUD化推進	スポーツ振興課	改修工事等に同調したUD化 1施設以上/年											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
スポーツ実施率向上のため、誰もが気軽に利用できる施設整備を目指し、パラスポーツを含めた各種大会の誘致推進や、すべての人が安心・安全に利用できるよう、浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン基本計画及び同指針に基づき、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化を進めます。		施設改修に合わせてUD化を進め、公共建築物ユニバーサルデザイン現状評価(H30:公共建築課)におけるスポーツ施設のUD度47.59点(全体平均49.72点)からの向上を図る。	天竜体育館大規模改修工事(事業期間:令和4年度～令和5年度)		可美公園総合センター舗装修繕工事(エントランスの段差解消)		第2期古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)運営維持管理事業(改修期間:令和6年7月～令和7年12月(設計期間を除く))							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標										
54	協働センター等へのWi-Fi整備	デジタル・スマートシティ推進課、情報システム課	協働センター等47施設におけるWi-Fiルーターの運用。 協働センター等68施設に「HAMAMATSU FREE Wi-Fi」を整備。		利用状況や運用を検証し、適切な配備となるよう見直しを行う。		利活用促進に向けた周知・啓発を行う。		利活用促進に向けた周知・啓発を行う。		利活用促進に向けた周知・啓発を行う。		
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容										
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括
協働センター等にWi-Fiを整備することにより、ウィズコロナやポストコロナの時代において市民団体等が活動しやすい環境を提供します。 また、地域コミュニティの中心となりえる本庁舎、区役所庁舎、協働センター等に公衆無線LANを整備することで、住民の利便性向上を図るとともに、行政のデジタル化を推進します。		地域住民にとって身近な施設である協働センター等にWi-Fi利用可能な環境を整備する。	協働センター等47施設にて、貸館利用者向けのWi-Fiルーターを運用した。 協働センター等68施設に「HAMAMATSU FREE Wi-Fi」を整備した。		施設改修に合わせた配置見直し、パスワード統一等の運用見直しを実施した。		ポスター・ステッカー等の掲出による周知の継続、中央区作成のフロアマップへ情報を掲載						
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価

基本目標	3	くらし 未来まで続く安全・安心な“まち”
基本方針	2	いつまでも続く快適なくらし
基本施策	2	施設の適正な維持管理

再掲

No	事業名	担当課	目 標											
51	公共建築物等のUD化推進	公共建築課	UD度：61.00点		UD度：61.50点		UD度：62.00点		UD度：62.50点		UD度：63.00点			
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
すべての人が快適に利用できる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の新設等の施設整備において、適正な整備水準を確保します。		公共建築物長寿命化推進事業で実施する大規模改修工事と併せて、ユニバーサルデザイン化整備を実施し、公共建築物ユニバーサルデザイン度の向上を図る。	中央図書館等についてUD化整備工事を実施し、目標の61.00点に対して61.03点と目標を達成できた。		総合産業展示館等についてUD化整備工事を実施し、目標の61.50点に対して61.69点と目標を達成できた。		渚園等についてUD化整備工事を実施し、目標の62.00点に対して61.87点と概ね目標を達成できた。							
			評価	◎	評価	◎	評価	◎	評価		評価		評価	

No	事業名	担当課	目 標											
55	浜松駅周辺道路におけるUD施設の維持管理	道路企画課、道路保全課	定期的な点検の実施による道路UD施設の適正な維持管理											
事業内容		5年間の目標	実 施 内 容											
			R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		5年間総括	
浜松市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区であるJR浜松駅周辺において、障がい者や高齢者などが、安全に安心して通行できるよう、道路のUD施設を適正に維持管理します。		定期的な点検の実施により、道路UD施設を適正に維持管理する。	定期的な点検の実施による道路UD施設の適正な維持管理を実施		定期的な点検の実施による道路UD施設の適正な維持管理を実施		定期的な点検の実施による道路UD施設の適正な維持管理を実施							
			評価	○	評価	○	評価	○	評価		評価		評価	